

ガラス類・陶磁器類のリサイクルについて

現在、燃えないごみとしてピンクの指定収集袋で排出している

「ガラス類」・「陶磁器類」について、

令和5年4月からそれぞれビニール袋(指定はありません)に入れて、

週1回 **びん** の収集日に

「資源回収ステーション」にて回収します。

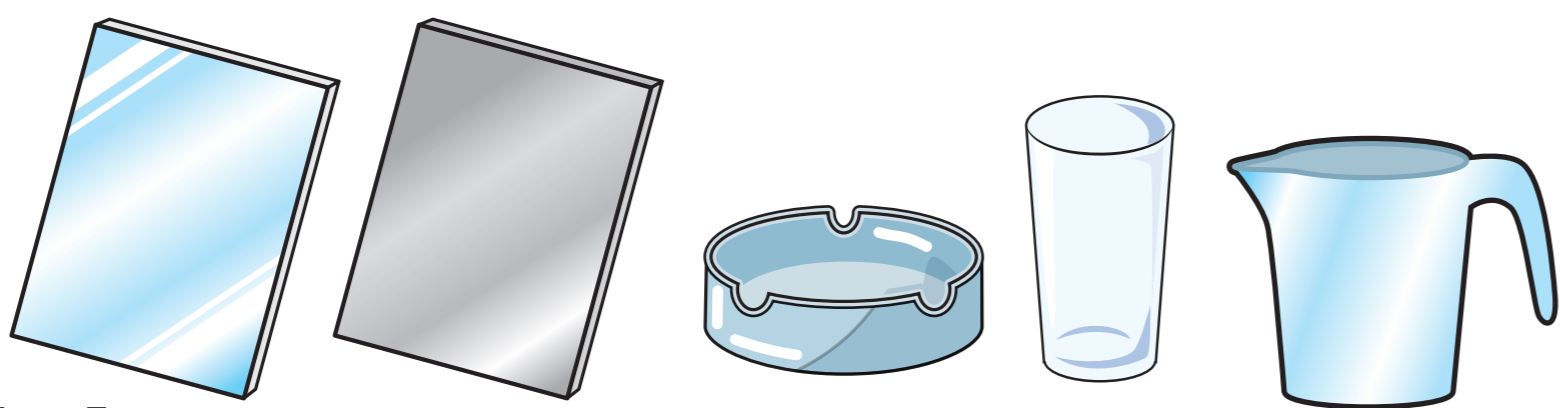
目的・効果

現在、ガラス類・陶磁器類は、不燃ごみとして収集し選別・破碎後、焼却処理し、広域資源循環組合において「エコセメント製品」として「資源循環」を行っておりますが、焼却によるCO₂を削減する目的で事業を開始します。

今後、資源物として回収した後は、焼却せず細かく破碎し、「リサイクル砂」に再生し、これを土木工事等の資材として利用いたします。

回収するもの

ガラス類



【例】

- ・板ガラス
- ・灰皿
- ・耐熱性食器
- ・曇りガラス
- ・コップ
- …など

陶磁器類



【例】

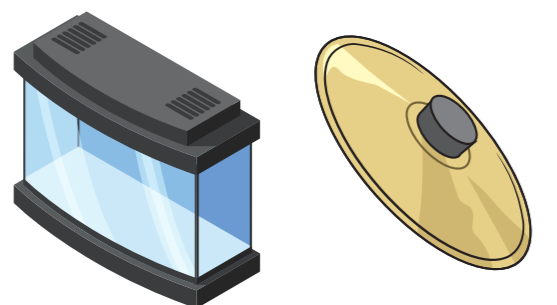
- ・花瓶
- ・皿
- ・焼酎の壺
- ・急須
- ・茶碗
- ・植木鉢
- …など

※割れているものもお出しいただけますが、収集作業員の安全を守るため、「割れ物注意」などと記載した紙に包んでビニール袋に入れるなどしてお出してください。

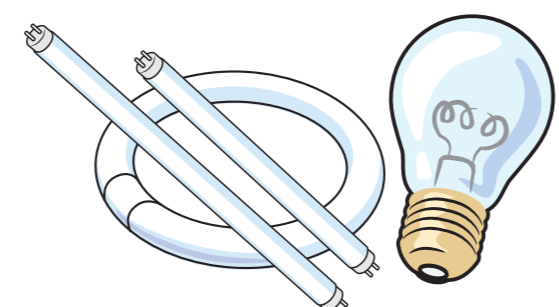
※「ガラス類」・「陶磁器類」は、中身を空にし、カゴに入るサイズで30cm以下のものとなります。

※30cm～50cmは「不燃ごみ」。50cm以上は「粗大ごみ」。

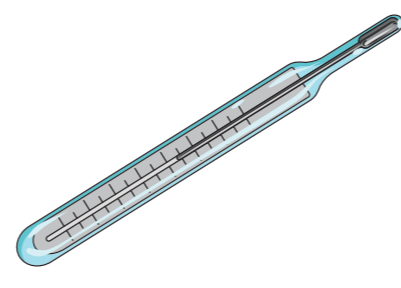
ガラス類・陶磁器類として回収できない主なもの



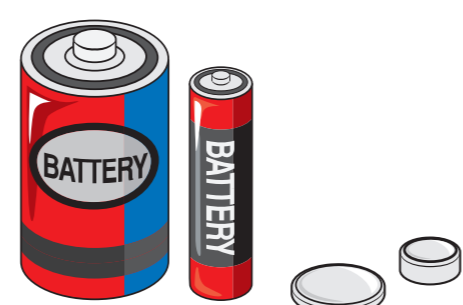
水槽・鍋蓋・姿見
枠付きのもの



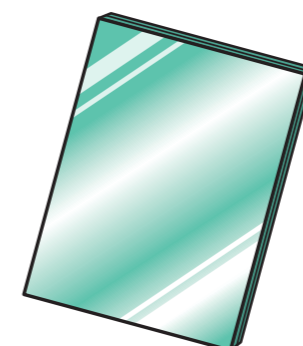
蛍光管・電球など



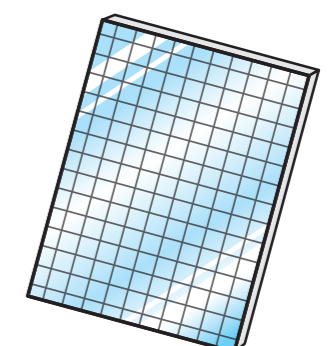
水銀体温計



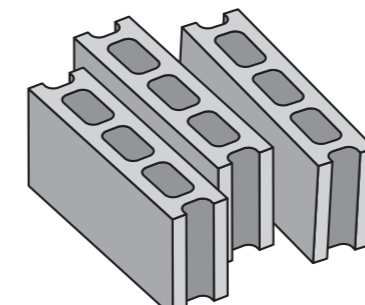
乾電池類



合わせガラス(中間膜入り)



網入りガラス



コンクリート製品



珪藻土マット

燃えないごみ

有害物

専門業者

市では収集
できません。

